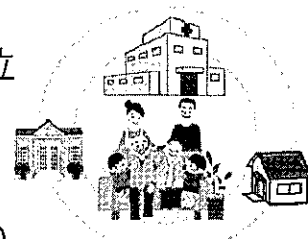


栄養情報提供書研修会開催案内

テーマ:地域包括ケア推進に向けた
シームレスな栄養管理体制の構築を目指そう!

日本栄養士会生涯教育実務研修 3単位(R412-101医療連携 3単位)
日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 第1群1単位
※本セミナー修了者には「地域医療に関する研修修了証」を発行する
予定です。



日時 平成29年10月28日(土)10:00～(受付9:30～)
会場 東北大学病院臨床大講堂(宮城県仙台市青葉区星陵町1-1)
参加費 5,000円(税込) ((公社)日本栄養士会会員割引価格 2,000円(税込))
参加資格 管理栄養士、栄養士

日程 受付9:30～

- 10:00～10:10 主催者挨拶
(公社)日本栄養士会常任理事 石川祐一
- 10:15～11:45 栄養情報提供書を学ぼう①
(公社)日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員 宮崎純一
- 12:00～13:00 ランチオンセミナー(お弁当つき)
ω-3脂肪酸の新たな展開～アマニの活用術～ 日本製粉株式会社
- 13:15～14:45 栄養情報提供書を学ぼう②
(公社)日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員 藤井文子
- 15:00～16:30 「そのひとの栄養の問題はどこにあるのか？」
岩手県立中央病院 副院長 消化器外科長 宮田剛先生



申込締切 平成29年10月11日(水)
※会員の方は会員証を持参してください。

申し込み方法(先着順)
(公社)日本栄養士会HP 研修参加フォーマットより、
必要事項を記入し申し込んでください。
※申し込み多数の場合、申し込み期間においてもお断
りすることがございます。ご了承ください。

主催 公益社団法人日本栄養士会
共催 公益社団法人宮城県栄養士会 医療事業部
日本製粉株式会社

すでに7月22日に札幌市で開催された同様の研修会の内容をご紹介します。

ぜひ、今回の仙台開催の研修で自身のスキルアップに活用しましょう。

栄養情報提供書を学ぼう①

(公社) 日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員

宮崎 純一

栄養情報提供書を学ぼう①では、栄養情報提供書を記載する上での基礎知識として、問題指向型システム (POS)、SOAP を用いた記録について解説し、実際の栄養情報提供書の各項目に添った記載の仕方を説明しました。データベースからの情報収集の仕方、データベースの中から問題点を抽出して、その因果関係を整理して問題リストを作成し、計画を立てる手順を提示しました。また平成28年度全国栄養部門実態調査の栄養情報提供書の内容から、情報提供件数の多い項目として、摂食嚥下、経管栄養、低栄養などが上位を占めていたと報告しました。後半は、実際の栄養情報提供書を用い、データベース、栄養量、食事形態、食事に関する問題点や介助の必要性、使用食器や器具の種類について、さらに栄養補給方法や栄養管理介入の経緯、注意点や課題に関してなど記載する上でのポイントと実例を挙げ説明しました。栄養情報提供書を用いた連携により後方施設の適切で迅速な食事対応や、在宅での食事に適切に反映することが可能となり、疾病の重症化予防や繰り返す再入院の防止や連携する施設のスタッフの業務負担軽減を図ることもできるのでぜひ活用して欲しいと思います。

栄養情報提供書を学ぼう②

(公社) 日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員

藤井 文子

嚥下障害のある高齢者について、「臨床栄養認定管理栄養士のためのガイドブック」の114から126ページの内容を習得した上で286から287ページの症例について栄養情報提供書を作成できるよう研修する。

食形態が合わないとう誤嚥性肺炎、脱水、低栄養に陥り、高齢者の健康管理に及ぼす影響は大きい。これらの予防には咀嚼・嚥下能力に応じた食事の提供や食べる姿勢、食環境の整備など多職種でのチーム医療が不可欠である。また、退院後の施設や自宅でも継続して栄養管理が可能ないように地域連携が必要になる。その一つの方法として栄養情報提供書が重要である。この研修では、医療施設から介護施設に患者が退院すると想定して栄養情報提供書の書き方を学ぶ。日本摂食嚥下リハビリテーション学会から嚥下調整食学会分類2013が提示されており、施設ごとに違った名称でもコードで共通理解ができるようになった。日本栄養士会雑誌6月号掲載論文「医療栄養情報提供書発行の有用性について」に用いたフォーマットを活用し、食事情報を落とし込み、日常業務の中で活用可能なように何が必要か、医療・介護の食事支援を考えていく。

会場：東北大学病院臨床大講堂2階 (入り口をお間違いなく)

